

○園の目標及び計画について

教育保育目標

◎生きる力の基礎「心情・意欲・態度」を育成する

教育・・・「健康」「人間関係」「言葉」「環境」「表現」各領域において様々な体験を積み重ね、相互に関連しながら具体的な活動を展開する。

保育・・・○十分に擁護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満たし、生命の保持及び情緒の安定を図る。

○健康・安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、健全な心身の基礎を育てる。

具体的な目標 及び 計画

目標	計画
<p>1. こども園での生活を楽しみ、安定感をもって過ごしていく中で自己肯定感を育み、明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わい、豊かな感性や創造性を養っていけるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の豊かな自然を取り入れた環境の下で、健康な心と体を育て、主体的な活動と体験を通して学び、考え、行動し、人と関わる力を育てていく。 ・それぞれの目標を設定しクリアしていくことで、成功体験を重ね、お互いで認め合っていける関係を築いていく。 ・園内や周辺の安心、安全な環境づくりや衛生管理に努め、衛生委員会等で職員の連携を図る。
<p>2. 友達や保育者、地域の人々と親しみ、触れ合う中で社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験を重ねる中で、身近な人や地域の方々との様々な関わり方に気づき、思いやりの心を育てていく。 ・保育ボランティアさんや地域の方との交流を通し、親しみや感謝の気持ちを養う。 ・地域の方々や身近な人達に、保育者がモデリングとなりながら、進んで挨拶をしようとする気持ちを育てる。
<p>3. 地域の子育て支援の拠点としてのこども園の機能を活かし、子育ての喜びを共に感じ、保護者の自己決定を尊重して子どもの育ちを見守っていく関係を築いていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業の『かんがるーはうす』や『NPプログラム』で地域の親子への支援を行い、地域への子育て通信の配布を通し相談の窓口となるように取り組む。 ・一時保育のぐるんぱの利用を窓口として、地域の保護者の子育て支援に繋げていく。 ・毎日の送迎や懇談会等で、保護者の方々の子育てに対する悩みや発達に関する悩み等を共有し、共に子育てをしている安心感や信頼感を持てるように努める。
<p>4. 小学校や他の関連施設との連携を図り、情報共有及び相互理解を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携会議や坂中校区子どもを守る地域ネットワーク会議に参加し、学童クラブ（スマイルクラブ）を通じて坂小との連携を図っていく。 ・療育施設等の関連施設とのケース会議や情報交換に努める。
<p>5. 園内研修において、各クラス年間のテーマや目標を定め、年間計画を作成して1年を通して実践し、各クラス担任が主体的に取り組んでいく保育を園全体で共有し、実践方法や内容においての気づきを学び合っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修の内容が、職員全員にとって主体的に学べるような取り組みを大切にしたい研修であるように努める。 ・クラスで決めた一年間のテーマを意識し、保育を主体的に継続的に行っていく。年間を通して行う保育の内容や方法に対しての気づきを全職員で学び合い、教育の質の向上に努める。

今後取り組むべき課題

- ・地域や園内での感染状況を踏まえて消毒や感染防止対策を取り、保護者にも引き続き感染情報を発信していきながら、安心して園生活が送れるようにする。
- ・施設内や園庭の点検を的確に行い、修理や改善の必要な個所は適宜修繕を行っていくようにするとともに、園児にも安全な使い方や大事に使うという気持ちを育てていけるようにする。
- ・子育て支援の拠点であり、地域の中で安心して子育てができるように支援の在り方も工夫し、ニーズに合ったものとなるようにする。
- ・集団での育ちや一人一人の育ちを保障し、こども園の良さ、学童が一緒の施設にいる良さを活かした保育を提供できるように努め、職員も楽しんで保育できるような環境づくりに努める。
- ・送迎時の保育がより安心安全なものとなるように、職員間で保育の在り方を工夫していき、事故等の防止に努める。
- ・避難訓練では、警察や消防署との連携や津波の避難場所として百華苑との連携をとり、非常事態の時に保育者が訓練の経験から的確に園児を避難させ、命を守っていくことが出来るように努めていく。
- ・子どもに向けるまなざしや言葉、対応が適切であるか、一人一人に寄り添った保育がされているか、子どもの自己肯定感を育てていける保育をしているか等、職員間で意識し合い、共に感じたことや意見等を、い合える職員関係を構築していく。
- ・小学校や療育施設との連携が密になっていけるようにする。
- ・保護者との信頼関係を構築してけるように努め、子育ての悩みや喜びを共有していけるような関係を大事に出来るようにする。
- ・研修を通して自己研鑽に努める。

具体的な目標や計画の総合的評価

結果	表価
B	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に職員全員で協力し合い、保育をやっという姿勢を感じる。 人数の多い園だからこそ、職員間の情報共有やコミュニケーションを取るような機会を作っていくべきだと感じる。 ・子育て支援の拠点であり、地域の方々と共に安心して子育てができる環境づくりに力を入れていって欲しい ・年間の保育目標を立て丁寧に保育をし、地域とのつながりを大事にしている姿勢を感じる。SNS等の問題もあるので、小学校や保護者とも連携を取りながら対応を進めてほしい ・まだまだ、取り組むべき課題もあるようなので、今後も引き続き意識して取り組んでほしい。

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが成果が十分ではない
D	取り組みが不十分である